

# ウユニ塩湖の下位蜃気楼

武田 康男（関東ブロック）

## はじめに

南米ボリビアにあるウユニ塩湖は、天空の鏡として有名である。乾季は塩原だが、雨季には薄く水が溜まって空が映るからである。日射の強い砂漠地帯なので下位蜃気楼が起こりやすく、水に映る景色との違いを調べることができる。

塩湖に水がないとき、塩湖に水が溜まったとき、さらに太陽の光が当たらない（下位蜃気楼が起こらない）ときなど、3日間にわたっていろいろな状態の写真や映像を撮影した。それらから、下位蜃気楼と水に映ったときの違いを確認した。

## 画像（それぞれの写真に白い点線で消失線を入れた）

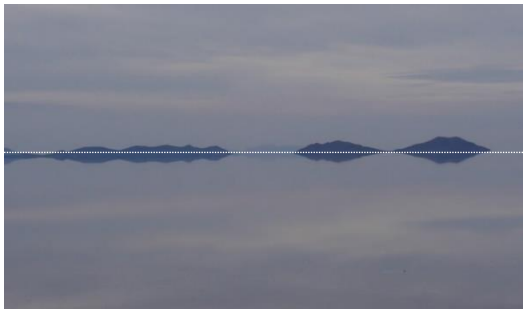
- ・乾燥地帯の下位蜃気楼



- ・ウユニ塩湖に水がないときの下の蜃気楼



- ・ウユニ塩湖の水に映った景色



- ・ウユニ塩湖の下位蜃気楼と水に映った景色



- ・車が空に浮かんで見える光景（下位蜃気楼と思われる）



## まとめ

下位蜃気楼と水に映る景色は似ている。しかし、光が曲がるしくみ（水面は反射、蜃気楼は屈折）が違い、温度の影響も異なる（水面反射は温度が関係せず、蜃気楼は温度変化する空気層がある）ため、分けて考える必要がある。今回、同じ場所でそれらを画像で確認できた。

また、下位蜃気楼も、海外ではこうして大きな虚像が見えることがあり、肉眼で見ても迫力があり、国内との違いを感じた。